

1 防災・防犯

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	長浦コミュニティ委員会	長浦防災訓練事業
東	新潟市木戸地域コミュニティ協議会	東日本大震災被災地「いわき市」へ防災研修
東	南中野山小学校区コミュニティ協議会	避難・避難所運営訓練
中央	白山校区コミュニティ協議会	白山校区コミュニティ協議会 防災視察研修会
中央	浜浦小学校区コミュニティ協議会	浜浦子ども見守りたい活動
中央	上山校区コミュニティ協議会	第8回 上山校区コミ協防災訓練
江南	亀田東小学校区コミュニティ協議会	亀田東小学校区合同防災訓練
江南	曾野木地区コミュニティ協議会	曾野木地区防災講演会
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座 29
西	小針小学校区コミュニティ協議会	防災訓練実施・津波避難マップ作成

北区 長浦コミュニティ委員会

活動名：長浦防災訓練事業

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

今まで、地域の消防団の訓練に合わせて防災訓練を実施してきた。ここ数年、自治会を巻き込んだ小学校区や中学校で防災訓練が行われてきている。しかし、防災訓練の内容が類似している。そこで、避難所で行う訓練と内容を変え、各自治会の防災担当者に対する、防災リーダー研修を実施することにした。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 1 情報伝達訓練
- 2 テント設営、発電機始動訓練
- 3 災害時パッククッキング研修
- 4 ボランティア受入れ研修

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

長浦地区消防団

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・地域の防災リーダーとしての自覚をもつことができた。
- ・各自治会が所有する発電機の状態や始動の仕方を確認することができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・研修内容について、研修内容、指導者の手配に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・今後も地域の防災力を高めるためにリーダー指導としての研修を行っていきたい。
- ・地域活性化の一つとして、各自治会からの協力体制を図っていきたい。



東区 新潟市木戸地域コミュニティ協議会

活動名：東日本大震災被災地「いわき市」へ防災研修

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

最近、地震や大雨などによる災害が多数発生しており、その対応策を早く築いておくことが求められている。これらを構築するに当たって、被災状況や避難所設営に関わる課題について学習することとした。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- ・現地研修前に「いわき市の被害概要」資料を取り寄せ、事前学習を行った。
- ・バスの乗車時間帯を利用し、防災、応急手当等についてのビデオ学習を行った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

いわき復興支援・観光案内所、現地の語り部さん

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・津波の凄さ、恐ろしさを実感し、自らの心構えや相互協力についての必要性を再認識してもらえた。
- ・防災訓練や避難所の運營業務への協力心向上が図れたと思う。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

事業を実行するに当たり、いわき復興支援・観光案内所の協力を得て、視察場所やルートについて事前調査を行い、出来るだけ効果のある行程を企画した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の対応マニュアル作成と連絡・援護体制の確立



東区 南中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：避難・避難所運営訓練

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害が発生した場合、地域には高齢者が多く避難活動ができない。そのため近くにいる中学生に協力をお願いしたいと考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

中学校への防災訓練への参加・協力依頼。
中学校では防災訓練の日（休日）を登校日としてもらった。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

東石山青少年育成協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

学校とのつながりができた。
他の活動においても協力体制を作ることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

学校行事の日程をみながらの調整に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

中学生との地域活動の活性化を図りたい。



中央区 白山校区コミュニティ協議会

活動名：白山校区コミュニティ協議会 防災視察研修会

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 1 白山コミ協は世帯数も多く、過去に新潟大火や新潟地震で被害を被った地域であるにもかかわらず、防災避難訓練などに参加する人数も少なく、防災に関する意識は極めて低いと思わざるを得ない。
- 2 マンション居住者が増え、近所付き合いが少なくなっており、地域の連帯意識が薄れてきている。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

東京電力柏崎刈羽原子力発電所・大河津資料館 視察研修

- ・防災意識・防災知識の共有を図るとともに減災について考えるきっかけにしたい。
- ・地域の連帯感や自助・共助意識の向上を図る。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

消防団中央方面隊白山分団、社会福祉協議会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

原発の安全対策や日本のエネルギー事情の学習。

大河津資料館では、過去の信濃川氾濫による水害と分水掘削の様子を学び、防災知識を向上させた。当コミ協が抱える自治会数や世帯数は大変多く（33自治会・ほぼ3000世帯）隣人の顔を知らない人も少なくない。非常時には混乱が予想される。目標は目標としたが、本音は、普段付き合いの少ない地域の人の中で、少なくとも非常時に活動可能な人たち同士が顔と名前を憶えてほしいのが狙いであり、その面では、参加者がほぼ全員参加した反省会を含めて効果があったといえる。

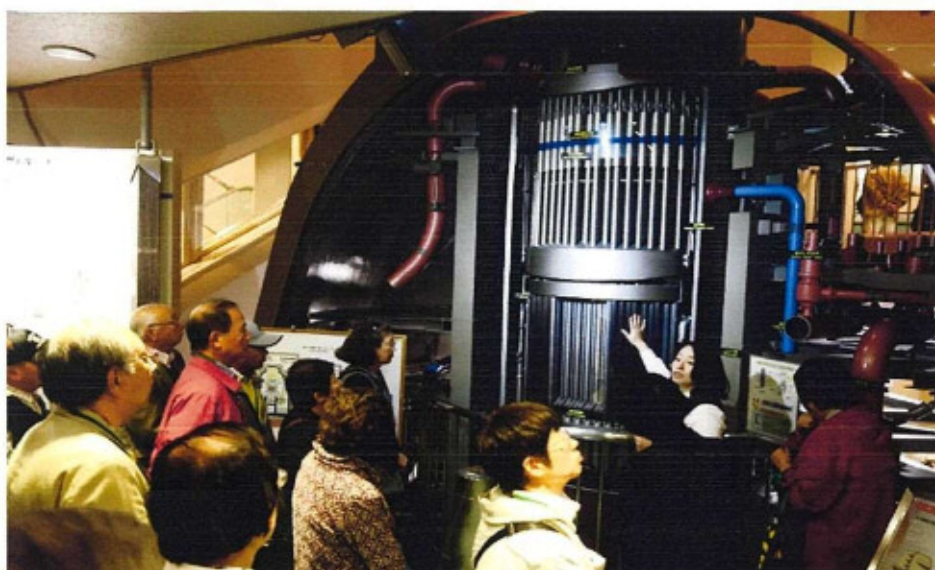
Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・コミ協重点事業としていただき、新潟市の地域活動補助金の対象としたこと。
- ・移動するバスの中で、新潟地震のCDを視聴してもらったこと。
- ・消防団員・民生委員の参加があったこと。
- ・懇親会を兼ねて反省会を開催したこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

先年の糸魚川大火は、住宅密集・海に近く強風が吹きやすい・フェーン現象が起きやすいなど当地域に環境が似ている。バス代金などの課題があるが、糸魚川を訪問し、防火、早期消火、復旧など視察したいと考えている。また、東北大震災の視察も考えているが、時間と費用などについてご助言賜りたい。

東京電力柏崎刈羽原子力発電所視察



大河津分水資料館視察



中央区 浜浦小学校区コミュニティ協議会

活動名：浜浦子ども見守りたい活動

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

以前より、「子ども見守り」活動は実施していたが、この度の小針地区での児童殺傷事件を受け、校区内の危険個所の見直しと、児童の登下校時の見守り方法を検討した。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

安心・安全マップの更新、見守りたいの連絡網の整備

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

有明台交番

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域住民の見守り活動への協力体制が強まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

ボランティアとして参加している「見守りたい」の方々の組織づくり並びに連絡網の整備

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

児童の登下校時の見守りとともに土日や休日、長期休みの期間においても実施できる見守りたい体制の構築



中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：第8回 上山校区コミ協防災訓練

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

「自分の身は自分で守る」を基本として、地域を守るために、あらゆる災害に備える行動ができる安心・安全な地域づくり。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

防災訓練及びあらゆる災害の教訓を活かして、地域を守るために、いざというとき力強く行動を起こせる意識を身に着ける訓練。また、自宅での備え、日頃の情報収集等の訓練。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

日本赤十字社 新潟県支部 講習指導者

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

くり返し、くり返しの訓練によって、いざというときに力強くあらゆる災害に備える行動力・情報収集力が高まったと思っています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・避難所における段ボールベットの組み立て方を赤十字社に指導してもらったこと
- ・災害の事例をDVDで上映したこと

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後とも、この基本訓練をくり返し、くり返し実施し、地域の安心安全を高めていきます。



江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名：亀田東小学校区合同防災訓練

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当地区では従来、自主防災組織又は自治・町内会単独による防災訓練が実施されてきた。災害時の避難所（亀田東小学校）の利用や自主防災組織等の枠を超えた地域連携の観点から、亀田東小学校、自主防災組織等（18団体）、関係機関による合同防災訓練の実施が長年の課題であった。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

粟島沖を震源とする震度6強の地震を想定した訓練

- ・参加者から安否確認のための「黄色いハンカチ」を各家庭に掲げてもらった。
- ・避難訓練 一時避難→二次避難
- ・初期消火訓練、応急手当訓練、煙体験訓練、起震車体験訓練、車椅子操作訓練、炊出し訓練など

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

亀田東小学校、亀田中学校、江南警察署、江南区社会福祉協議会、江南区役所、江南警察署

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・訓練を契機に住民同士が顔見知りになり、共助の意識が芽生えた。
- ・自主防災組織未結成の地域では結成の機運が生まれた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・安否確認のための「黄色いハンカチ」を掲げることで、一体感の醸成を図った。
- ・実行委員会を立ち上げ、訓練内容の検討、日程調整を入念に行った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・今回の反省点を生かし、概ね3年に1回程度、合同防災訓練を実施する予定。



江南区 曾野木地区コミュニティ協議会

活動名：曾野木地区防災講演会

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

各地で発生している、相次ぐ異常気象と豪雨災害及び当地区に発生した過去の大水害（曾川切れ）から100年目を契機に、改めて水害の恐ろしさを認識するとともに災害時に身を守る対策等の必要性から。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

信濃川下流域の現状と水害から身を守る対策などについて講演会等を開催。

- ・「国土交通省信濃川下流河川事務所」による講演
- ・曾川切れなど過去の大水害時のパネル写真展示。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

国土交通省信濃川下流河川事務所、江南区役所、曾野木中学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

曾川切れ大水害から100年の節目の開催ということもあり、防災意識向上に繋がった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

いかに多くの住民に参加してもらうための広報活動。

- ・自治会回覧板のほか、曾野木中学校運動会でのチラシ配布（父兄等へ）や講演会当日、広報車での周知を実施

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

来年度はより防災意識の向上に向け、曾野木地区全体での防災訓練を計画。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座 29

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 大規模な災害時に、地域全体で的確な対応ができるよう中学生を対象に応急措置技術を身に付けさせ、大人達の助力となるように養成する。
2. 災害に対応できる人員の増大を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. 心肺蘇生・AED 使用訓練
2. 応急手当・搬送訓練
3. 初期消火訓練

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西消防署及び地域消防団及び新潟市防災士の会西区支部、当地域の3小中学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 訓練を行うことで緊急時に的確に行動できると思う。
2. 災害時に地域の大人と連携し防災活動ができると思う。
3. 中学生時代に防災意識を高めることで、地域内外に問わず応急対応ができる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

・実施日を2回に区分して行った。

1. 1回目は小学生（新通小学校29名、坂井東小学校8名）の参加を得た。
2. 2回目は坂井輪中学校1年生全員（242名）を対象として実施し、意義深い活動であった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

災害時の緊急対応が重要視される昨今、緊急対応措置の必要性が求められていると思うので、次年度以降も小・中学生を対象に養成講座を継続して行う。

西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災訓練実施・津波避難マップ作成

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 1 東日本大震災、熊本地震後などの、地震災害に関心が高まりどう対応すべきか、また、小針小新地域は河川遡上による津波と液状化が大きな課題である。
- 2 災害発生時の避難所運営と支援者不足の恐れがある。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 1 避難訓練（地震・津波・洪水など）を毎年実施するほか、防犯訓練は防災防犯部会で企画立案を行い運営等は小針小学校の全面的な協力を得た。
- 2 災害発生時の避難所運営には支援スタッフ、ボランティアの協力が不可欠であるため研修会を開催し、知識の習得と支援スタッフの確保を図った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市・西区役所・西消防署小針出張所・西区消防団坂井輪分団・社中越防災安全機構

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

防災訓練を毎年実施することで防災意識の向上が図られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

防災訓練や避難所運営については自治会や西区役所、関係団体の全面的な協力を得た。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

防災訓練、防災講演会・セミナーなどの開催を通して防災意識の向上を図る。

町史調査



小針小学校区コミュニティ協議会

子供安全教室



小針小学校区コミュニティ協議会 (防災訓練) (過去の写真)

